

小型充電式電池等 による発火事故が 急増しています

近年、リチウムイオン電池に代表される小型充電式電池は、私たちの身の回りの多くの電子機器で使われています。



小型充電式電池が使用されている身近な物

- ▶ 家庭用ゲーム機
- ▶ スマートフォン・タブレット端末
- ▶ モバイルバッテリー
- ▶ カメラ
- ▶ 電子タバコ
- ▶ 電気シェーバー など

小型充電式電池は、衝撃が加わると発火する恐れがあり、非常に危険です。伊奈町クリーンセンターでも、この電池が原因と思われる発火事故が多発しています。



▲実際に発火したゲーム機等



▲実際に内部が炎上したクリーンセンターの機械。側面には赤茶色の焼け跡が残っています。

小型充電式電池等が使用されている製品をごみとして出す際は、次のことを必ず守りましょう。

- 外した電池は、「**廃乾電池・ライターの日**」(年2回)に出しましょう。
また、**廃乾電池回収ボックス**が、役場北庁舎入口・ゆめくる・図書館・総合センターに設置してありますので、ご利用ください。
- 小型充電式電池は、可燃ごみ、プラスチック包装、不燃ごみ等他の種類のごみとは絶対に混ぜないでください。



▲廃乾電池回収ボックス

ごみの分別 Q & A

ギモンを解決！これであなたも分別マスター！

Q1 ペットボトルは、蓋とラベルをつけたまま捨てていい？

A



ペットボトルの蓋とラベルは「プラスチック製容器包装の日」に、ペットボトル本体は中を水洗いして「ペットボトルの日」に出しましょう。



Q2 スプレー缶・ガス缶は「カンの日」に出していい？

A



ガスが残っているスプレー缶・ガス缶がごみに混ざっていると、収集車両や処理施設での火災事故につながる恐れがあり、非常に危険です。必ず中身を使い切ってから、穴を開けずに捨てましょう。

Q3 使い捨てライターは、他のごみと同じ袋に入れて出していい？

A



火災事故につながる恐れがあるため、使い捨てライターだけを別袋にして「廃乾電池・ライターの日」にお出しください。なお、ライターは使い切ってから捨てましょう。

Q4 保冷剤・乾燥剤・使い捨てカイロ・マスクは「可燃ごみ」で出していい？

A



使い捨てカイロは必ず使用してから捨てましょう。また、マスクの入った袋は、口をしっかりと縛って捨てましょう。

Q5 容器に残った薬や化粧品などの液体は、そのままの状態ですべて捨てていい？

A



容器に残った液体は布やティッシュペーパーなどでふき取り、水洗いするなどして、それぞれ分別して捨てましょう。また、薬や化粧品などの「ビン」は、不燃物としてごみに出しましょう。

Q6 雨の日に、古紙・古着は出さない方がいい？

A



雨に濡れた古紙・古着はリサイクルができません。そのため、雨の日や降りそうな時には「次回の収集日」に捨てましょう。

Q7 カン・ビン・ペットボトル・プラスチック製容器包装品は、中身を洗わず捨てていい？

A



これらの製品は、リサイクル資源になります。必ず水洗い等をし、中の汚れを落としてから捨てましょう。



悪い例。必ず中は洗います。

☆より詳しい分別が気になったあなたは…

町で配布している「ごみ収集カレンダー」や、町ホームページで公開している「ごみ分別表」をチェックしましょう。ごみの詳しい出し方が掲載されていますので、ぜひご確認ください。



▲ごみの収集
ホームページ